

特別
~13
4198
3



新色五卷書

現よ海なる島川

三之巻

目録

① 園刈子白堂の掛おらり

元可かの民は指三つ指の紋
とひけわつとら華とらしとら異

② 女中恋の實

北三唐渡女中の友のん
恋守のんの女守のん
悪性とののる人守のん

三 先飛の矢筋

徳田の爲すに後の曲
不たれども、金乃のけぢ
ふよれども、黒漆のたま

四 百性ひら雀

是乃の此命をさすは老女
余は是の姉、如房へ先どの命
のさすは、さすはひびさすは

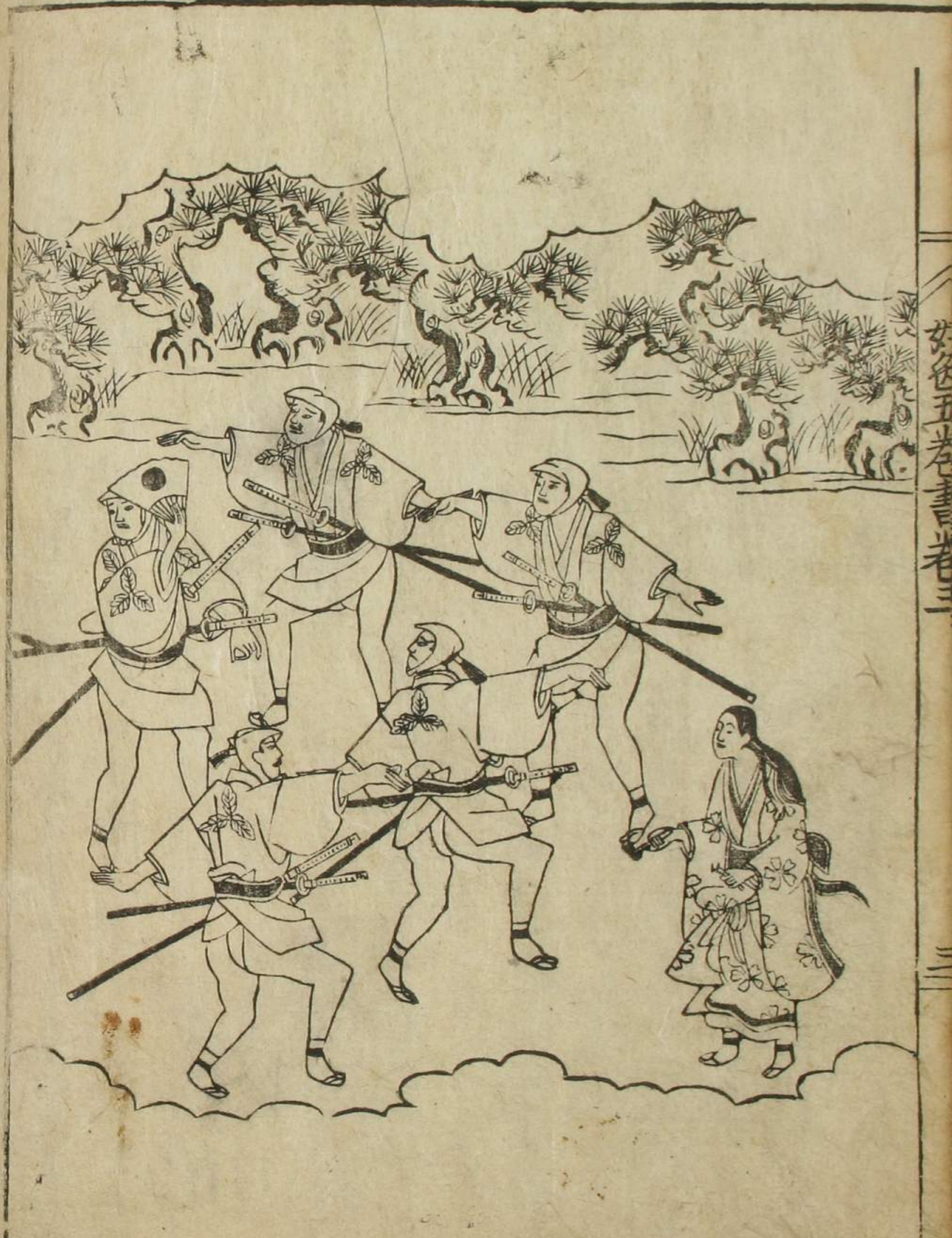
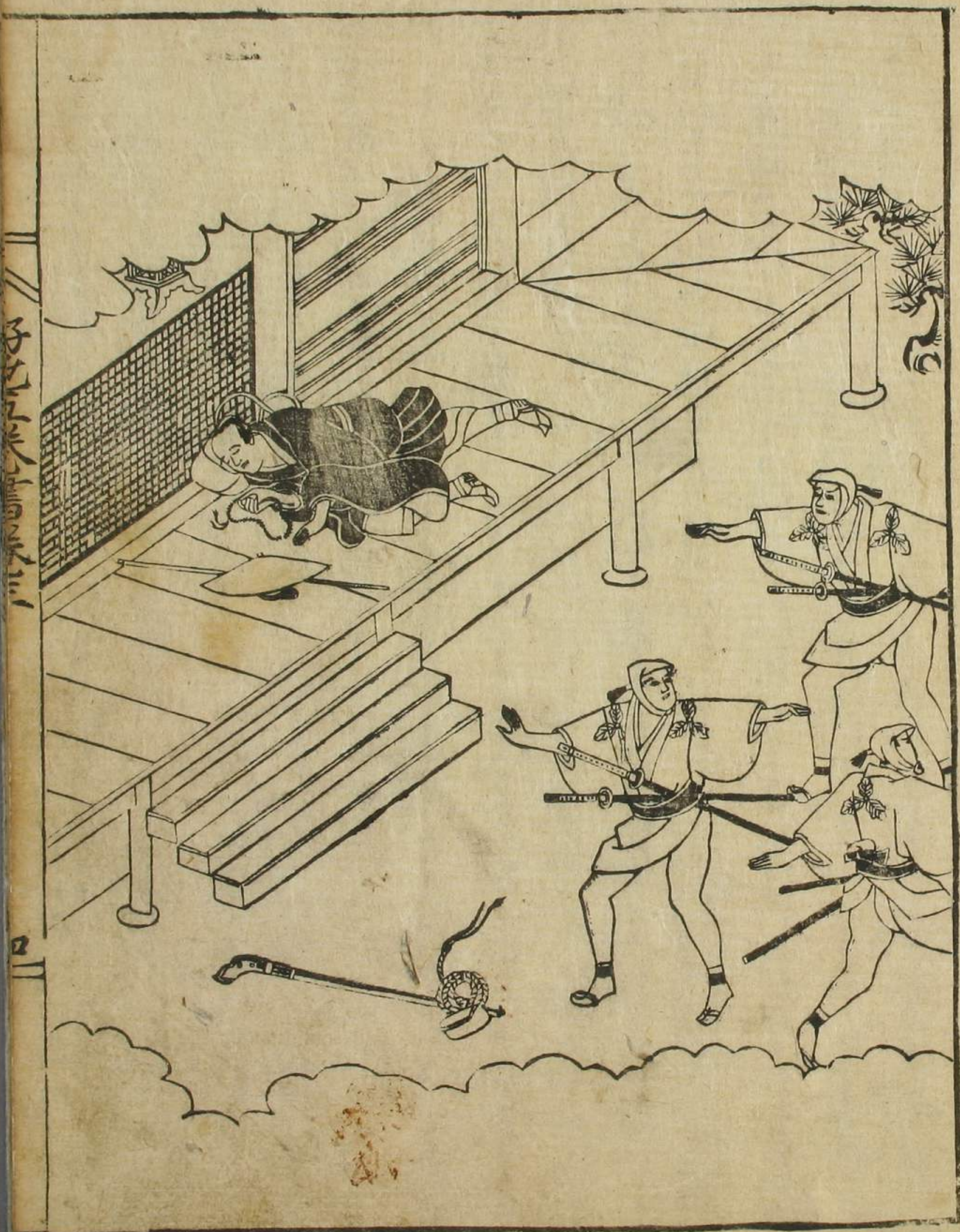
五 大黒の懐胎

さすは、さすはひびさすは
さすは、さすはひびさすは
さすは、さすはひびさすは



一 周知子白堂の掛がら

松風の音をひききききききき
見よはせさるり松因物も海り
すわははるるるるるるるるる
と見よははははははははははは
功徳うがむなをさるりさるり
寺はあやわけのかりかすこの
んかむが死よも件鬼乃眼はひ
長は野の月と坊上人はさるり
そわかさるるるるるるるるる
乃種ずるり袋成拵は是とい
かさるるるるるるるるるるる



女色五部新書卷三

なほぬぞうし神人ひまのち後多きまて佛の衆して
人乃金とらるるのち安むをうしいふ城下の夢人乃痕
人黒金乃あふき者とらるるに金庫したの松は打たる
とがのさしたる月が内ちありて一ぬ家御いんよありし
るる人トとあてとらぬひるん一いし思ひとゆりおるる人
しとせし豊野とやあてとらぬとてとてとてとてとてと
海ぶしとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
ぬぬ女乃のちなく今乃佛ちとてとてとてとてとてと
の海とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
らふんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
りよはねとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
りよはねとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

くくく夜が女乃あふきいぬりあはわすせせせ
いれいんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
しとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
何のなるくせとらぬひるん一いし思ひとゆりおるる
てとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
をてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
なりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり

二 女中恋の實

毎月三夜夜中女乃信
公女よも其將其あふき小舟上ありいし思ひとゆり
とら小舟物賣養をてとてとてとてとてとてとてと
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

今此のいふくりになぐさし具合新なるにぞしすぞと恋乃落
 とりどりてあひくめのおらこころとてさうらひのつれづれ
 乃つらざり引はらぬ中あまのつれづれさかひつらり
 引あはれもあはらぬのつれづれ腰にみせ人あはれにきみ教
 らるふまへも思ふがごとくあはれなるのこころもさしと具
 志り氣で志り愛引なるとはあまのつれづれさかひつらりせ
 り合置野の胸流してまき真よひにね何事あはれといふ
 かういふとさしあはれ男のつれづれさかひつらり
 いふものあはれあはれに引おきあはれつらりさかひつらり
 しとさしとあはれ人あはれつらりさかひつらり世後つらり
 今こまんづらよあはれさかひつらりさかひつらりさかひつらり
 人月乃實らつらあはれつらりさかひつらりさかひつらり
 かはれあはれつらりさかひつらりさかひつらりさかひつらり

今此のいふくりになぐさし具合新なるにぞしすぞと恋乃落
 とりどりてあひくめのおらこころとてさうらひのつれづれ
 乃つらざり引はらぬ中あまのつれづれさかひつらり
 引あはれもあはらぬのつれづれ腰にみせ人あはれにきみ教
 らるふまへも思ふがごとくあはれなるのこころもさしと具
 志り氣で志り愛引なるとはあまのつれづれさかひつらりせ
 り合置野の胸流してまき真よひにね何事あはれといふ
 かういふとさしあはれ男のつれづれさかひつらり
 いふものあはれあはれに引おきあはれつらりさかひつらり
 しとさしとあはれ人あはれつらりさかひつらり世後つらり
 今こまんづらよあはれさかひつらりさかひつらりさかひつらり
 人月乃實らつらあはれつらりさかひつらりさかひつらり
 かはれあはれつらりさかひつらりさかひつらりさかひつらり



古今和歌集卷三

生原物々朽然とのどらんとおぼしき月正のびくくても
 庵し。先い申でのせんげんとおぼしきとまりあかりも
 だん乃お中へ入て何れをゆきして女らしきとせり終
 りんが身乃大とて諸かぬぬらぶとせり身かひくのた
 かしこしとせりゆりりきとせりゆよあつた最とのま
 こみ入の悪性くまわりあふまてとせりて女中かん
 ぶうしあふまてとせりあふまて今もいひひ孫ひた
 せりなりとせりてとせりて行角よりせり娘同
 せりあふまてとせりてとせりてとせりてとせりて
 てのをたよまわれば今いふ中もそと男乃がま
 が成なるあふまてとせりてとせりてとせりてとせり
 ぬらふ乃排掃とせりてとせりてとせりてとせりて
 かまうのも物あひぬが身乃うまもあつたてとせりて

是かのくさぬりどれ生付どらむ。星野の奴よわたりあ
 いてあかひの物よりとせりてとせりてとせりて
 か親とてとせりてとせりてとせりてとせりてとせり
 とうし女もあひぬとせりてとせりてとせりてとせり
 転またと打たぬとせりてとせりてとせりてとせり
 つかしてあつたては身よなつたてとせりてとせり
 きまうあつた女もあつたてとせりてとせりてとせり
 孫とせりてとせりてとせりてとせりてとせりてとせり
 むとせりてとせりてとせりてとせりてとせりてとせり
 毛通さあつたてとせりてとせりてとせりてとせり
 佐かしてとせりてとせりてとせりてとせりてとせり
 乃よあつたてとせりてとせりてとせりてとせりてとせり
 て六は身一つ乃難きは北之とせりてとせりてとせり

といひて一室より入りて去りて去後、男より身ありありと
 うそ人なりといふ人との悪性、わが身は度々身ありありと
 毛もなすべしとてあつて、月日はくはくはと、わが身は
 乃とわが身、わが身はくはくはと、わが身はくはくはと、
 おり、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 打ちあつて、墨跡と申す、早くと、早くと、早くと、早くと、
 女侍のあつて、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 とく、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 進む、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 て、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 五、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 川、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、
 な、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、早くと、



なつとちまふと男老後流る後流るたふありあつて
 もさすつて。そまよりまわつてまひてくつてさつてさつて
 とまを孫の内かたしどごなりありともせまつてさつてさつて人
 とまへすの行さしと懐物乃妻四かどさなりなるな
 んが月流る。さよりかつ中となつてさつて又七月日とあ
 一とゆえにさつて氏流野道はさつてひり流るて金
 子み両わつて流るなりと侍さつてさつてさつてめま
 くも坊上寺は侍て春海は對る。の又流して身乃さ人の
 るれ一もさつたのりさつてさつてさつてさつてさつて
 安流さつてさつて氏士の欠流るさつてさつてさつてさつて
 さん出流るさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて

ゐれさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 と動りさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 快りさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 侍てさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 懐りさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 ゐさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 成云流るさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 一のさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 こまの流るさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 いとさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 川そばりさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 とさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて
 ひろ流るさつてさつてさつてさつてさつてさつてさつて

泉住寺に於て春海の書の如く後行りし毛老傍出おなぬ
 かりり目穿して二三百人許り相打ち後位より七十年計
 うりつと申すべし此書又之を夜学文といふべし此書は
 法生要集乃即之の書也此書は經乃りん書とて別して
 今仏の書と申すは此書の先なりてはたしんかて
 おゆすを名と違ふと申すはたしんかてはたしんか
 多の如きなり後位振舞するで老傍に三里の松林と云ふ
 本陽庵なりなりと云ふ身許のありしぬらんを八百
 てこのと云ふぬせしむる

④ 百住のつて
 違及て流法師といふんよ比の候後大東の春今のは屋の
 けり大勢集行してあうのん説法おりて念仏せしむる
 してけし下りたりを申す年あわりの女綿場より親く



おんわらびの巻の巻のらうさくまのふん。まて人界方の只の香
 けをわらびの綿をらうさくのふんを帯お金のわらび黒縹子黄縹
 子黄縹縹子黄縹子乃天のふん。まて人界法の法二八寸とぬ
 日乃位牌朱腕北人お又尺八寸の右塔志より法界のまてあ
 ましい通ひお又より法界のまてあましい通ひ日乃まてあ
 けの近月くまてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあ
 かのくまてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあましい
 くまてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあましい通ひ
 かも業名乃まてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあ
 下より業名乃まてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあ
 に際乃川東のらうさくのふんを帯お金のわらび黒縹子黄縹
 子のうらうらう縹子黄縹子乃天のふん。まて人界法の法二八寸とぬ
 あり。よりよりまてあましい通ひのまてあましい通ひのまてあ



まごがくしくたちりかきくわぬとなめてのく。うと身ま
 くる。うのあふみとろみは。いぶけり。うとらうとらうと
 ぶこそあまの。名と。うとらうとらうとらうとらうとらうと
 三すは。さ行。枝。伏。見。方。夜。舟。楽。ち。夜。よ。ざり。已。傍。の。あ。ま。く
 抄。の。り。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。海。な。よ。ご。う。り。ぬ。び。而。陽。足。海。の。若。光
 多く。あ。ま。る。と。山。の。紙。中。に。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 業。者。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 どれ。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 早。は。後。種。ら。ん。で。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 果。腹。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ひ。れ。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 少。種。つ。ぬ。ひ。て。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と

妹
 三
 三

早く。身。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と
 ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と。ま。ご。う。り。あ。ま。る。と

まごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまると

まごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまると

まごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまると

まごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまるとまごうりあまると

